

世代別・職業別タウンミーティング(要約)

テーマ：子育てについて

平成27年6月4日(木曜日)

【市長】 皆さんこんにちは。本日は、子育てタウンミーティングを南部児童センターで開催するにあたりまして、南海放送さんとの共催の「すこやか赤ちゃん応援フェスタ」にあわせて実施させていただきました。私も2人の子どもを持つ父親です。今は大学1年生と高校1年生になりましたので、皆さんの声が懐かしいなあと思います。今日は何かとお忙しい中、たくさんの方々にご参加をいただきましてありがとうございます。会場には子育てに関する担当課が相談ブースを設けております。また、移動図書館も来ておりますので、この後お時間がありましたらぜひご利用いただきたいと思います。このタウンミーティングは、市長就任後、市民目線を大事にする、現地現場を大切にするという思いで、地域の皆さんのところに私が出向く方法で始めました。松山市は41地区に分かれるのですが、1期の任期4年の間に、2巡りすることができました。おかげさまで今2期目に入らせていただいたので、今度は地区別のタウンミーティングだけではなくて、今日のように子育て世代の方や大学生の方々、おじいちゃんやおばあちゃんに集まっていたいただいての世代別のタウンミーティングや、職業別のタウンミーティングを実施することにしています。松山市版のタウンミーティングは、できるだけこの場でお答えをして帰ります。しかし、国と関係をする案件とか県と関係をする案件や財政的な問題があるものは、いいかげんな答えをして帰るわけにはいけませんので、一旦持ち帰らせていただきますが、必ず返事をお返しするのが特徴です。やりっぱなしにしない、聞きっぱなしにしないのが特徴ですので、今日も色々な皆さんからの声をいただいて、できることからすぐに松山市の施策に生かしていきたいと思っています。それではまず、松山市は色々な子育ての取り組みをしていますので、ご紹介をさせていただきます。小学校就学前までの医療費の完全無料化に加えまして、今年の4月からは入院費の無料化を中学校3年生まで拡大をしました。また、所得環境が厳しいお母さんとお子さん、また、お父さんとお子さんといったひとり親家庭の医療費を助成して負担を軽減しています。また、児童クラブの対象児童が小学6年生まで拡大されたことを受けまして、児童クラブ室の整備を進めています。また、新たに児童館の建設を進めています。また、待機児童対策としては、つばき保育園と味生保育園に仮設の園舎を増設したほか、認可保育所や事業所内保育施設に補助を行うなど園児の定員増に努めています。今日は市役所

職員が来ていますが、市役所にも育児経験がある職員がいますので、職員の意見を施策に生かしていこうと20人の市役所職員のプロジェクトチームをつくり、平成25年の秋に集中して検討しました結果、3つの大きなテーマが出ました。情報が皆さんに周知できているか、育休の不安を解消できているか、送迎の問題など、いろいろ解決策を考えました。子育てに役立つ情報をまとめた冊子で「まつやまトコトコおでかけしましょ♪」という「まつやま子育て応援ブック『まつトコ』」をつくることになり、昨年8月から「赤ちゃんセット」に入れて配布しています。そして、昨年12月から子育て情報サイトの「カンガ(エ)ルーカフェ」を開設しています。松山市は色んな子育て施策をやっていますが、皆さんのお声とずれているようなことがあってはいけませんので、今日のタウンミーティングで色んなご意見をいただいて施策に反映していきたいと思っています。今日はどうぞよろしく願いいたします。

【女性】 もうすぐ8カ月になる男の子を育てています。今日は市長と直接お話ができると聞いたので、欲張って3つのお願いをしたいです。1つ目が赤ちゃんの遊び場をもっとつくってほしいということです。今、近くの子育てひろばに行っていますが、やはり同じぐらいの赤ちゃんと遊ぶと子どもも喜ぶし、私自身も色んな意見交換ができるので、そういうところがもっとあればいいと思います。ほかのところも行ってみたいと思うので、コミセンとか児童館にも行ってみたいんですけど、大きいお子さんが走り回っていたり、乗り物で遊んでいたりで、ハイハイ時期の子はちょっと危ないかなと思って遊ばせなかったこともありました。ですので、1歳ぐらいまでの赤ちゃんが安全に遊べる広場をもっとたくさんつくっていただけたらうれしいというのが1つです。2つ目が先ほど市長がおっしゃっていた医療費のことですが、入院費だけでなく、できたら通院も無料にしていただけると助かると思います。周りのちょっと大きなお子さんを育てているお母さんに聞いたら、小学生になると特に男の子はけがをすることも増えてきて、医療費だけでなく塾や習い事でお金がかかるそうです。医療費だけでも無料になるとすごく助かって、ほかのことに回せると思いました。最後に3つ目ですけど、子育てサポーターをもっと気軽に利用できればいいと思います。おじいちゃんとかおばあちゃんが近くにいない状態で子育てをしている人も多いと思います。私自身もですが、高齢出産のお母さんが増えると、当然、おじいちゃんやおばあちゃんも高齢だったりご病気だったりということが増えて、いらっしやっても預けることが不可能というご家庭が多くなると思うんです。私も実際に自分自身が

けがや病気をしたときに預け先がなくて困ったことがあったので、もっと気軽に預けられると子育てもしやすいし、2人目や3人目も産めるかなという気持ちにもなれると思うので、今もあるとは思いますが、簡単に利用できるようなれぱうれしいと思います。

【市長】 お住まいはどこの地区ですか。

【女性】 衣山です。

【市長】 一番近い児童館とかよく遊んでいらっしゃるところはどこですか。

【女性】 味生と久枝の児童館ですね。

【市長】 はい、わかりました。確かに大きいお兄ちゃんやお姉ちゃんと一緒に遊ぶのは松山弁で言いますが、けつられてもいけないですし、気になるところですよ。ハード・ソフトの両面の対応があると思います。建物をつくっていくのがハード面ですが、小さい赤ちゃんたちが遊びやすく時間帯で分けるとかのソフト面で運用を考えるやり方もあるのではないかと思います。それと医療費のことをわかりやすく言います。医療費には入院費と通院費がありますが、入院費を中学3年生まで、いわゆる義務教育の期間中は入院に何の心配もいらないように拡大しました。これは愛媛県からも補助をもらってやっている事業なので、中村知事に「育児の拡大をしたい」とお願いをして、今年4月から中学3年生までは入院費の助成ができるようになりました。できれば通院費も義務教育の期間中は無料にしたいです。でも、松山市の人口から考えると1年間に使うお金がものすごく増えていきます。今、私の気持ちとしてはやりたいけれど、たちまち1年間に出ていくお金が億単位で増えていくので、そこまでは財政的に厳しいのが現状です。来週、全国市長会が東京であり私も行きます。実は各地方自治体はサービス合戦になっています。松山だと何年生までだけど、周りの町や市だったら何年生までいけるとかさまで、これは各市町がそれぞれのお財布から持ち出しをしてやっているんです。でも、同じ義務教育の期間中なのに、A市はできるけれどもB市ではできないのはちょっとおかしいじゃないですか。国がこれをしっかりと捉えて、「せめて義務教育の期間中は全国一緒になるようにやってください。」と全国市長会では言ってこなくてはいけないと思っています。それと子育てサポーターについては、こんな制度があるので利用していただけるようご紹介させていただきます。皆さん、子育て支援サービスの「ファミリーサポートセンター」をご存知ですか。名前を聞いたことがある、知っているという人は手を挙げてみてください。ありがとうございます。半分ぐらいですね。実はファミリーサポートセンターで新たに支援できるようになったものが

あります。ファミリーサポートセンターは、子育ての援助を受けたい人と子育ての援助を行いたい人の双方に会員さんになっていただいて、お互いが助け合う仕組みで、松山市は両方の会員さんの斡旋をしています。では、どのような使い方ができるかという、例えば仕事が忙しくて保育園の迎えが間に合わないとか児童クラブが終わった後も少し子どもを預かってほしいとか、そういう送迎や託児にご利用いただけます。安心して利用できないといけませんから、子育ての援助をしたいという会員の皆さんには、子育てのサポートに関する研修を受講していただいています。松山市は、昨年平成26年4月から料金の一部を助成する制度を始めました。これは1時間700円から900円の料金が必要ですが、1カ月について2時間半まで、ひとり親世帯なら5時間までの利用料が無料という制度をスタートしました。ぜひ使っていただきたいと思います。この制度を知っていたよという方は手を挙げてください。周知が不足していますね。先ほども申し上げましたが、色んな取り組みをやっている、皆さんに知られていないところがあるので、これもやはり改善をしていかなくてはならない。皆さんにどうすれば知ってもらえるかを解決しないとイケないと思っています。ちょっと追加で、通院の無料化には1年間にどれぐらいの費用が必要ですか。

【子ども子育て担当部長】 義務教育終了までですと、1学年1億、毎年9億円あったら完全無料化ができます。

【市長】 中学3年生まで通院費も無料にすると、今より1年間に9億円かかりますので、どこの地方自治体もそうですが、教育・環境・道路など色んな事業をしないといけない中で、1年間に9億円かかる。そして、「今年やったけど来年厳しいですからもうやめます。」というのは行政としてはできないですね。だから今のところは、ここまでしかできないのが現状です。

【市長】 子どもさんの遊び場のことについてお願いします。

【子育て支援課長】 ご住所が衣山ですね。こちらの「まつトコ」という冊子ですが、「子育てネットワークえひめ」というNPO法人につくっていただき、そちらのホームページにも掲載しています。地域子育て支援拠点事業というのがございまして、衣山に「くーふぁん」という広場がございまして、木のおもちゃで遊んだりとか、本を読んだりとか乳幼児向けの遊びと子育ての相談を行っているところです。こういったところが、衣山だけではなくて、余戸とか東雲大学、聖カタリナ大学、保育園など16カ所で事業を行っています。そちらならば、あまり大きなお子様は来られていないと思いますのでぜひご利用ください。

【市長】 松山市は、できれば皆さんの子育てが楽になるようにと思って事業をやっていますが、さっき手を挙げていただくとほとんど伝わっていませんでした。じゃあ、「市長、もっとこうしてくれたら私たちにこの情報が届くのに。こういうことしてよ。」という意見があったら言ってほしいです。では、新たにつくらせていただいた子育てに関する情報のサイトの「カンガ(エ)ルーカフェ」は、おなかに袋があって赤ちゃんを育てるカンガルーのイメージから「カンガ(エ)ルーカフェ」と名付けましたが、この「カンガ(エ)ルーカフェ」を見たことあるよ、ホームページを見たことあるよという方、手を挙げてもらえますか。まだ少ないですね。これが現状なんですよ。じゃあ、どうやったらもっと見てもらえますかね。多分、今申し上げたので皆さんはご家庭に帰られて「カンガ(エ)ルーカフェ」に色んな情報が入っているのを見ると思いますが、「こんなやり方じゃなくて、こう配ってもらったら情報が届くのに。」という意見があったら言ってほしいです。

【女性】 いつも広報まつやまをしっかりと読んでいます。お子さんが1歳になりましたという写真のところは、結構家族でも「この子こんなだね」とか、「大きくなってね、お兄ちゃんぽいね、お姉ちゃんぽいね。」と見るのを楽しみにしています。子どもの情報は、パッとよく目に付くところにまとめて載せてもらおうと見たい情報がすぐわかってありがたいなと思います。

【市長】 松山市にとって子ども子育てはすごく大事です。子育てに冷たい市町村は、将来お子さんが増えるとは考えにくいじゃないですか。だから、子ども子育てを大事にしようとして去年の4月から、課単位ではなくて部単位でやっていきたいと思います。子ども子育て担当部長をつくりました。松山市の広報ではこの「カンガ(エ)ルーカフェ」のことや、子育て情報はあまり出てないですか。松山市の広報紙は確かに全戸配布です。すべてのご家庭に行っているのですがどうでしょうか。

【市民部長】 サイトを設けたときには、当方でも流しました。毎月2回の広報紙の最終ページの子どもさんが載っているところに、子育て情報があれば見られる方にはいいと思いますので、検討させていただきたいと思っています。

【市長】 このように言っていただいたほうがいいです。結構目からうろこで、ああ、そうすればよかったんだということがあります。松山市の広報紙は全戸配布していますので、子育ての欄でこういうサイトがありますよ、これを見ていただいたら皆さんにお得な情報がありますよという周知を広報紙を使ってやらせていただきたらと思います。(ポスターを見て)

これですね。結構かわいらしいデザインでしょ。子育てを考える「カンガ(エ)ルーカフェ」松山市子育て情報サイトを、ぜひともご家庭に帰ったら見ていただいて、よろしかったら広めていただけたらと思います。広報紙だけではなくて、もっとこうしてくれたらいいという意見はありますか。

【女性】 それ、すごく可愛かわいいと思います。お母さん方は、タウン情報よりも子どものためによく行く病院とかスーパーとか生活する場に貼っていただけたら目にすると思うので、いいんじゃないかなと思います。

【市長】 児童館・保育所・病院・スーパーなどへの周知の状況はどうですか。

【子育て支援課長】 おっしゃられましたように、確かに今は十分お知らせが貼れていない状態です。周知場所の数を増やしていくように努力していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

【市長】 去年の2月と5月に南部児童センターと若草町の中央児童センターでも、子育てミーティングをさせていただきましたが、ショッピングセンターの中の託児所などの壁に貼ってもらうと助かるというご意見もいただけていました。できるだけ病院やスーパー、児童館、保育所などで周知していきたいと思います。周知のこと、医療費のこと、子育てのサポートのこともいただきました。子育てのサポートのことで何かご意見はありますか。

【女性】 昨年8月に転入してまいりまして、こちらで10カ月ほど生活しています。松山市は子育てがしやすいと周りから聞いてすごく楽しみにしてまいりまして、その言葉のとおりでした。今、娘が1歳3カ月になりますが、赤ちゃん相談、高島屋さんでの出張の身体測定、先ほど言った「くーふぁん」もよく利用させていただいております。通勤族なもので色々な情報を仕入れたいと思って、児童館も色んなところを訪ねて回っています。「くーふぁん」は木のおもちゃがたくさん置いてあって赤ちゃんでもとても安心して遊ぶことができますし、スタッフの方もとてもフレンドリーな方が多いです。他のお母さんともそこで知り合い、結構ママ友さんをつくることができ、家に引きこむことがなくてよかったなど感謝しています。ただ、「くーふぁん」の利用時間が10時から夕方4時となっているので、1歳になって職場復帰されていくお母さんとかは、そこで途絶えてしまうんですね。働いていらっしゃるお母さんのために、息抜きしたり、ちょっと一息つける場があればいいなと思います。それには、もう少し遅くまで開いていたり、土日の運営があるといいと思います。また、お母さんたちは交流する場が多いのですが、お父さんは土日どこかへ連れて行って子守するぐらいでしかないですね。交流の場があって、イベ

ントも多々組んでくださっているのですが、お父さんたちの集まりとかも組んでくだされば、お父さんたちの情報交換もできるのかなと思いました。児童館にも行っていますが、小さい飲み込みそうなおもちゃが散乱しています。ピアノも鍵盤が外れて、電子部品が見えているところに子どもが手を突っ込んだりしました。おもちゃの整備もですが、赤ちゃんの遊ぶスペース、小さい子どもたちが遊ぶスペースを考慮していただけたらと思いました。子育て支援センターも利用していますが、そろそろ一時預かりも利用しようと思って情報を集めていたら、一時保育ですら登録ができない状況だそうで、近隣のところを探しているのですが、ちょっと車で走らないと行けないところしか見つけられない状況です。保育士さんの不足とかもありますので、すぐご対応いただけないと思いますが、現状を考慮いただけたらと思います。最後に、大型商業施設だと分煙化が進んでいまして、快適に利用できるのですが、レストランとか小規模の施設に行くと出入口に喫煙コーナーがあるなど、なんで子供を連れてこんなところを通って店に入らないといけないのだろうというところが多々あります。そういうところに松山市から働きかけをしていただけないかなというお願いです。

【市長】 利用時間10時から16時の件、また土日の運営はどうでしょうかという意見をいただいております。また、保育所の整備、そして、出入口の分煙のこと、順番に行きましょう。

【子育て支援課長】 子育てひろばなどの利用時間の件ですが、確かに、平日は10時から15時までですとか、日中の利用時間になっているのが現状です。お母さん方が利用したいときにひろばが開いていることが一番望ましいことだと思いますし、相談にいつでもものっていただけることが、本当に理想的な子育てひろばだと思っています。今後は利用時間の拡大に向けた取り組みを進めていきたいと思っていますので、ご理解いただければと思います。

【保育・幼稚園課長】 保育所ですが、今新しい制度になって認定こども園や小規模保育園などを増やしています。ご相談のあった一時保育は、保育所を希望しても入園できない方が一時的に利用していたり、子育てに疲れているところをひと休みで利用したりしていますが、確かに利用できないところもございます。一時保育の希望者についても、抽選をして利用できる人を決定しているのが現状です。しかし、先ほど申し上げたように、認定こども園や幼稚園、保育園も含め施設が今後増えてまいります。そこが一時保育を実施することで、受け皿も増えてきますので、今、たちどころにはいきませんが、しばらくお待ちいただけたらと思います。

【市長】 子育てのことですが、市役所の中でよく言っておりますのが、

子育てに冷たいまちに発展性はないですよというのが1つ。できる限りサポートしましょうというのが1つ。子どもはすぐ大きくなります。0歳の子は3年経ったら3歳になります。3歳の子は3年経ったら6歳になります。一番手のかかるときをあっという間に越えてしまうので、スピードが求められるとかなり繰り返し言っています。そして、どうしてもハード整備をしようとするとお金が要る話になるので、先ほどの繰り返しにはなりますが、限られた財政の中で一番何をしなければならぬか、どれだけバランスをとれるのか、それをにらみながらやっているところです。ソフトや運用面でできることも多々あると思いますので、皆さんから意見を言っただけ利用できるだけ利用しやすくしていきたいと思います。分煙のことがありました。健康づくりですね。

【健康づくり推進課長】 たばこのお話ですが、5月31日が世界禁煙デーで、そこからの1週間、ちょうど明日まで禁煙週間ということで、いろいろな施設に禁煙週間の大きなポスターを貼っております。今年是有森裕子さんが出ているポスターですが、いろいろな施設に貼っていただけませんかということでお願いに回っていました。今、松山市では「禁煙ぞなもし松山」という取り組みをやっていて、禁煙あるいは分煙も含めて、ご協力いただける施設に登録していただき、施設にポスターを貼っていただくよう1件1件お願いをしています。この禁煙週間の間には、例えば昨年ですと空港ビルの中の飲食店とか、大街道の商店街に1件1件、禁煙分煙について、協力をお願いして回りました。毎年、場所をしばって順次回っていますが、回ったお店全部がご協力いただけるかというとなかなか難しいところもあります。そういった地道な取り組みをやりながら、順次広げていければと思っております。

【男性】 私の子どもは特殊な病気というわけではありませんが、日本に7人世界で36人という身体に障がいがある子どもです。今、「発達支援相談センターくれよん」に通っています。本来、4歳であれば幼稚園もしくは保育園に預けなければいけない歳ですが、愛媛県・松山市等が運営されている、発達障がいの子どもの受け入れてくれる幼稚園の「ひまわり」「くるみ」「あゆみ」の3校で受け入れができず、今、待機児童になっています。障がい児の子どもは、1年のブランクがすごく大きいです。今、2～3歳の子が歩いていましたが、うちの子が歩くようになったのは2歳半で今でもしゃべれません。一人で立ったり座ったりすることもなかなか難しい状態です。今、「くれよん」さんで療育を受けてしっかり勉強させていただいています。家庭でできる療育には限界があります。私の妻は

幼稚園の教諭を7年間していたんですけど、そんな妻でもまいてしまうくらい大変な状態です。今、「ひまわり」「くるみ」「あゆみ」で待機児童がどれくらいいらっしゃるか知っていますか。「ひまわり」では受け入れが最大は50人のところ60人受け入れされていますが、待機児童が10名以上いらっしゃると聞いております。「くるみ」「あゆみ」ともに受け入れが大体30名ですが、今40名受け入れをし、ここも待機児童が10名ずつくらい。登録されている方だけで合計30名以上いらっしゃいまして、登録されていない方をあわせると未知数だそうです。障がい施設の優先順位は、レベルの高い子いわゆる受け入れが難しい子から受け入れていく体制をとられています。私の子どもは先ほども言ったように、日本でも前例がないくらい難しい子なので、受け入れてくれやすいはずなのに、待機児童になってしまっています。これが5年以上前から続いているそうです。先輩方から、「もう5～6年前から当たり前のように10何名なんてあったよ。」と聞きました。今日、子育てのことについてということで来たんですけど、事前に調べたら、この管轄は子育て支援ではなく、障がい福祉支援だそうです。だけど、うちの子は子どもなんですよ。4歳なんです。正直助けてほしいです。今一度制度を見直していただきたい。2歳とか1歳とかでハイハイされている方とかいっぱいいらっしゃいますが、ちょうど私の子の病気がわかったのも1～2歳くらいです。ちょっと発達がおかしいと不安を感じてから病院を通して、「発達支援センターくれよん」さんに行っていますが、くれよんさんも受け入れが200名以上いて、今お断りしている状態が続いているそうです。ここで今、僕はこれを言うのにすごく震えて言っています。公の場で言うのは初めてです。障がいを持っている父親、母親はこそこそと生きています。恥ずかしいです。つらいです。自分は喫茶店をやっていますが、子育て支援の喫茶店をしています。まさか自分の子どもでこういう子が生まれてくると思っていなかったのですが、生まれてきてわかったことは、発言することすら難しい世界だったのだなということです。多分すごく言いたいことがいっぱいある人がいると思います。支援等も結構受けていますが、できれば「くれよん」の最高理事、理事長の野志市長が一度、運動会とか卒業式とかでいいので、来ていただきお話を聞いていただけませんか。たった1年の通園施設ですけど、1年でも卒園される方々のお母さん方は、みんな泣いて喜んでいました。野志市長の業績のおかげで、少しでも成長して幼稚園にステップアップできる子とか、成長できたという喜びを感じていらっしゃるお母さん方がいっぱいいらっしゃいます。職員さんもものすごく頑張ってくださいています。どうしたらお父さんと一緒にこういうことができるかとか、お母さん

とどういふふうにしていけるかと頑張っているんです。よかったらタウンミーティングで障がいの部類も1つ入れていただけないかなと。私ごとで誠に申し訳ないんですけども、行政のほうも動いていただけないかなと思います。

【市長】 「実は今震えているんです。」とおっしゃったのですが、勇気を出して発言していただいてありがとうございます。皆さんも同じ子どもを育てている親として、感じるどころがあったのではないかと思います。子育てといろいろな部署が連携してやらなきゃいけない話だと思います。国は、「子育てにできるだけ親切にしましょう」といっています。保育園はどこの省庁の管轄かご存知ですか。厚生労働省の管轄です。幼稚園は文部科学省の管轄です。そんな管轄は関係ないじゃないですか。松山市では、「できるだけ皆さんに利用してもらいましょう」と、去年の4月に、保育・幼稚園課をつくり、保育所も幼稚園も一緒、縦割りをなくそうという大きな方向性で動いています。貴重なご意見をいただいて、もう1回チェックをさせていただいて、縦割りにならないようにして、サポートを求めている皆さんには、できる限りのサポートをするのが、行政の役割だと思いますので、持ち帰らせていただいて、現状を見させてもらったらと思います。

【女性】 この子は生後4カ月の男の子ですが、上に4歳の女の子がいます。松山市立の保育園に通っています。私も今は育児をしていますけど、1年後に仕事復帰を考えていまして、育児休暇を1年にしています。1年にした理由というのが松山市立の保育園は育児休業が1年じゃないと上の子が退園しなくてはいけないという決まりがあるからです。私は1月に復帰予定ですが、保育園の入園が決まるのが半月前で、12月の中旬くらいに決まるということです。もしそこで入れず育児休暇を延ばすとなると職場にも迷惑をかけることなのでできないですし、そうかといって入れなかったときに預け先をどうすればいいのかすごく弱っています。保育園の入園について、早い段階でここなら入れるという確証をいただけるようなシステムにしてほしいという希望を言いたいと思いまして、お願いします。

【市長】 1年という話がありましたが、どういう経緯で1年なのかという話と、現状に合っているのかどうか、確かに1月から復帰されようという中で12月中旬に決まったのではなかなか復帰のことは難しいのではないかと思います。このあたりどうでしょうか。

【保育・幼稚園課 専任課長】 お母さんからの提案のように、職場復帰にあたって入園決定が遅いので不安だと、よく皆さんからご相談を受けています。まず、育児休業中の保育継続期間が1年以内になっているのは、

さまざまな理由で保育園への入園をお待ちの方がたくさんいらっしゃる中で、少しでも入れない方を減少させるため、お母さんが自宅にいて保育できる状況であれば保育を継続するのは上限1年が適切であると判断したからです。自宅で保育ができるかできないかだけで考えたら、子どもさんは退園ということになります。お母さんが育児休業中は退園し、職場復帰される時にまた入園するとなると、子どもさんの環境がころころと変わってしまいます。これでは、子どもさんにとってあまり良くないということで、育児休業が1年以内、また、小学校に上がる直前の年齢の子どもさんについては1年過ぎていても3月31日までならば退園しなくても継続して通園できるよう運用しています。そうした中、復帰にあたって、下の子どもさんの保育園の預け先が早く決まったらいいのというお気持ちは、私自身も子どもを抱えながら仕事を続けてきたのでよくわかります。現在、松山市では1カ月単位での申込期間を設けさせていただいています。2カ月前の月末で締め切ってから申請された方全員の色々な状況を規定に照らし合わせ審査をします。入園がはっきり決まるのが、どうしても前月の中旬くらいになってしまっているのが現状です。入園を希望する方には色々なご事情があり、もちろん職場復帰のお母さんたちには、保育園への入園が必要だということは大変重く考えていますが、できるだけ多くの希望者の中でどの世帯が緊急性をもっているのか、保育を必要とするご家庭なのかなど、全員に同じ審査、判断をさせていただくため申請の締切日もぎりぎりまで設定しています。どうしても判断できるのが中旬になってしまいます。早く分からないと困るというお気持ち、お母さんの提案もよくわかりますが現状をご理解いただければと思います。

【保育・幼稚園課長】 補足させていただきます。今、保育園では4月に入所がいっぱいになってずっと入所待ちをされている方もいらっしゃいます。そのため、保育園では年度途中で入りにくいという現状から、昨年3月末に子ども・子育て支援事業計画を策定し、この計画に基づいて平成29年度末までに保育所等を整備する計画としています。ある程度保育所等が整備されると入りやすくなると思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

【市長】 すぐ大きくなりますからね。ハード整備は、建物を建てているとどうしても時間がかかってしまいます。建物ができたときには私たちの子どもたちは大きくなっていると言われると思いますが、今後の世代の方への対処もだと思いますので、先ほどいただいたご意見を持ち帰らせていただいて、他市の事例も見てもっと早くできないのか検討させてください。

【女性】 今住んでいるのが来住町で、よく利用している子育て施設が久米児童館や久米保育園の支援センターで、1番家から近いのが未来保育園の支援センターです。子どもが生まれてベビーカーを押すようになって初めてスロープとか子どもの安全面に気を遣うようになりましたが、久米保育園は駐車場がありません。児童館には最近3月に駐車場ができてとても便利になりましたが、保育園にも駐車場が数台でも停められるところがあったら行きやすいと思います。保育園の前の歩道もガタガタしていて、未来保育園の近くも車がすごく行き来しますが、歩道がなくて、車が来ると一旦よけて止まってという状態です。せめて保育園の前の歩道をベビーカーでも行きやすいように整備していただくと助かるなと思います。これもハード面なのでお金がかかるんですけど、駐車場とか歩道とかの整備が進めばいいかなと思っています。以上です。

【保育・幼稚園課長】 久米保育園の子育て支援センターを担当していますが、駐車場の件は、児童館でこの6月から駐車場を借りていまして、支援センターもこの駐車場をお借りできるように協議したところです。ですから、支援センターに来られた方は児童館に届けていただければ使えます。それと歩道につきましては県道か市道かを確認しないといけません、道路管理課とも協議しながら検討したいと思っています。

【市長】 私が財政のことを言ったものですから皆さんにブレーキがかかり出しています。遠慮なくおっしゃってください。皆さんの声をもとに進めていくのが行政なので、言ってもらったほうがいいんです。知恵と工夫でできることがあります。最近、小学校の近くの交差点にカラー舗装されているところが増えてきています。今までは交差点がわかりにくくて自転車の事故とか子どもの事故とかありましたが、カラー舗装することによって事故が減った例がかなりあります。大きさによっても違いますが、小さい交差点だったら100万円くらい出したらカラー舗装ができます。知恵と工夫でやれることがあるので皆さんの声を聞かせてくれたほうがいいです。「どうせ市役所に言ったって変わらへんわい」ではなくて、我々はできるだけ皆さんに寄り添っていきたいと思っていますので遠慮せずに言っていただいたらと思います。知恵と工夫でできることがありますので、よろしくお願いします。市内一律で整備するのではなくて、保育所が近いのならベビーカーでの利用を考えた整備の仕方もあるだろうと思います。どこも同じ舗装ではなくて児童館とか保育所の近くだったらベビーカー使うだろうからその動きも考えてという舗装のやり方もあると思いますので、言ってもらったほうがいいですから、遠慮せずに言ってください。

【女性】 先ほども障がいの話が出ていたんですけど、私の子どもはもうすぐ3歳で自閉症スペクトラムという10人に1人が該当するのではないかとされている状態です。保健師さんとかがいろいろ親身に相談に乗ってくれて、今は療育施設に通っていますが、療育施設が幼児期までの対応ということで、小学校以降は相談を受けられないといわれていまして、先の見えない不安がすごくあります。できれば子どもが自立するまで一貫して発達のことを気軽に相談できる場所がないのかなと思います。療育施設も障がいですという認定じゃないですけど、認定をもらわないといけないし、色んな状態の子がいるのだから、もう少し気軽に発達のこと相談できて、しかもなおかつ一貫して相談を受けてもらう場所があったらいいなと思って発言させていただきました。

【市長】 ありがとうございます。子育て、発達のこと困ったらどこか一括して相談できるところがないですかというご趣旨かと思えますけれども、どうでしょうか。

【子ども総合相談センター事務所長】 子ども総合相談センター事務所では、発達についても、通常は月曜日から金曜日は8時30分から21時、土・日曜日は8時30分から17時まで相談を受け付けていて、こちらにご相談いただいたら、いろいろと発達についても面談しながら相談させていただきますので、よろしくお願いたします。

【市長】 お訪ねいただく場合は住所地はどこですか。

【子ども総合相談センター事務所長】 松山市築山町の青少年センターをご存知でしょうか。青少年センターにご連絡ください。子ども総合相談センターの電話番号が943-3200です。こちらにご連絡いただければ随時対応させていただきますので、よろしくお願いたします。

【市長】 年齢の段階に分けてその年代の方はここに行ってください、となるといけないので、一括して受けられるセンターを設けています。遠慮なくご相談いただけたらと思います。皆さん、市役所とうまく付き合ってください。私もご存知のように南海放送のアナウンサーを20年していた人間です。外から市役所に入ってきた人間です。皆さんから相談していただいたら、「こういうやり方はできないのですが、こういうやり方ならできます」とか、「ここの担当ですから担当に回します」とか、対応や紹介ができます。「どうせ市役所に言ったって変わらんわい」とは思わずに、遠慮なく相談してもらったらと思います。また、松山市役所には市長へのわがまちメールといまして、何かお困りのことがあったら、「市長聞いてよ」という直接のメール制度があります。今日言いにくい方もいらっしゃると思いますので、それも遠慮なく使っていただけたらと思います。よ

ろしくお願いします。

【女性】 私は他県から引っ越してきましたが、まず感じたのが自分の近所だけかもしれませんが、用水路がすごく多くて、家を探すときに聞いたら「畑で使っている水が流れています。」ということでした。子どもは突拍子もない動きをするので、その用水路がすごく怖くてちょっとずつでも少なくしていただけたらとか、柵などしていただけたらと安心かと思えます。

【市長】 皆さんも市内各地で用水路をご覧になると思えます。用水路にふたをしてくれたら道幅も広がるし安全になるとおっしゃると思えますが、ふたをしないのには、実はこういう経緯があります。用水路を使っている方は農業関係の方が多いです。我々もご意見があれば、自転車の人や歩いている人が落ちたらいけないので、ふたをしてもらえませんかとお願いをしますが、だいたい農業されている方は、溝が詰まったときにふたをしてしまうと掃除がしにくくなるとか、水が汲みにくくなるといった理由で、どちらかというとうたをあまりしたくないという人が多いです。でも、私たちから話をさせていただいて、皆さんのご要望なのでということで、できるだけ調整をさせていただいて、ふたをできるところはしていつているというのが今までの経緯です。市民の皆さんからそこについていっぱいご意見があれば、ふたをするお話を持っていくとかもできますので、遠慮なく言っていただけたらと思えます。市長へのわがまちメールとかでも、市役所に声をお寄せください。ちなみに、我々12時になってすぐに帰るわけではないです。もしよろしかったら、地図で場所を教えてください。この辺の溝にふたしてもらったらいのだけれどと言っていただけたら、地元の方とお話をしてからになりますけど、対処することもできます。

【女性】 私も二人の子どもがいて、上が女の子です。今仕事をしていいますが産休育休中でこの子がちょうど今日1歳です。もう仕事復帰のときですが、保育所がいっぱいで待機児童になってしましまして、復帰できていません。職場にお願いをしたら一時保育で預かり先が決まってからでいいと言ってくれたのですが、困っています。一時保育も園によっては歩行ができるようになってから、離乳食を普通食に移行してからの預かりなど、いろいろと条件があって、この子はまだ離乳食で普通食ではないので、一時保育が不可能ということになるので、そういう面も緩和してほしいと思えます。上の子も同じように、園によっては歩行ができないので預かれませんが、1月からは一時保育もお預かりがいっぱいで預かれませんかと言われ、何園か回ってやっと一時保育が決まりました。一時保育についても預かり

の形を緩和していただけたらと思います。

【保育・幼稚園課 専任課長】 一時保育で預かれる対象児童の年齢は、一部の園では3カ月から大丈夫ですが、ほとんどの園が1歳からのお預かりとして運営させていただいています。一時預かりは特別事業としての運営です。各保育園に委託して運営しています。委託しているすべての園が対象児童の制限は年齢のみで、空きがあれば1歳になったらすぐ預かってもらえると思っていましたが、1歳以上でも園によっていろいろ条件がついているということで、情報不足で申し訳ありません。先ほどからご提案いただいておりますが、一時預かり事業についても、定員オーバーでなかなか利用ができない状況であるというのは皆さんからのご意見でよく存じております。現在、新制度が始まり、保育園の整備や地域型保育の整備をしながら、受け入れの拡充をしていますが、まだ、どうしても地域によってご利用が難しい地域と、そうでもない地域といろいろ出てしまっているのが現状です。今後も施設整備など努力していきたいと思っております。

【市長】 皆さん、たくさんのご意見をいただきありがとうございました。私の想いを最後に述べさせていただきます。このタウンミーティングは、私が市長に就任させていただいて始めさせていただきましたが、どちらが楽かという話をしたら皆さんが市役所に来られるのを待っているほうが楽です。でも、果たしてそれでいいのでしょうか。我々から皆さんのところに出向いていきましょう、声を聞かせていただきましょうということで地区別のタウンミーティングを始めさせていただいて、おかげさまで2期目に入りました。1期目の途中に子育てミーティングをこの南部児童センターと中央児童センターで2回やらせていただいて、やっぱり子育て世代の声をもっと聞きたいなと思って今日に至っています。今日、子育て担当分野の職員が来ていますが、私も含めて私たちのミッション、やらなければいけないこと、市は色々な分野のやらなければいけないことがあります。特に子育て担当の分野の職員は子育てのサポートをしっかりと、皆さんに笑顔になっていただくことです。限られた予算を駆使してやっておりますので、時間がかかってしまったり、すぐにはできなかつたりということがあられるかもしれませんが、できるだけ皆さんの声に寄り添っていきたく思っていますので、これからも遠慮なく言っていただけたらと思います。今日、教えていただいて、我々もよかれと思っている施策がまだまだ皆さんに届いていないということも感じました。これからも情報発信に努めていきたく思いますし、聞くことにも努めていきたく思いますので、これからも遠慮なくおっしゃっていただければと思います。最後

に自分のときのことを思い出して、お子さんを連れて1時間もこういう場所に参加されるのは、大変だったと思いますが、本当に貴重なご意見をいただきました。皆様のご意見をいただいてから、これから我々がどう動けるかが本当の勝負だと思いますので、皆さんの意見をしっかりと受け止めて、そして動いていきたいと思えます。今日は本当にありがとうございました。

— 了 —